

二〇三二年四月九日

|                 |      |
|-----------------|------|
| 大津絵の猫も鼠も春愁ひ     | 凡士   |
| 花堤ゆつくり歩く至福かな    | こすもす |
| 早暁の誦経かきけす春疾風    | 愛正   |
| 手をつなぎ名札読み合ふ新入児  | なつき  |
| チューリップ背比べする遊歩道  | むべ   |
| 海青し花のトンネル抜けてより  | こすもす |
| 一両車屋根に桜を散らしくる   | 素秀   |
| 水車落ちまた組み直す花筏    | なつき  |
| 丘なせる段々畑花菜満つ     | わかば  |
| シーソーを蹴つては触るる桜かな | なつき  |
| 春光を蹴たてて鵜の水面駆く   | はく子  |
| トランプのやうに広げし種袋   | なつき  |
| 分け入れば黄色き迷路菜花畑   | 素秀   |
| 工房に調弦の音うらけし     | むべ   |
| 春寒やキッチンカーに人の列   | よう子  |

毎週句会秀句・みのる選・二〇三二年四月一〇日